

① Int. Cl<sup>2</sup>  
H 01 R 39/38

⑤日本分類  
55 A 034

⑨日本国特許庁  
公開実用新案公報

⑩実開昭51-13503

府内整理番号 6435-51

⑪公開 昭51(1976). 1.31

審査請求 有

⑥小型モータのブラシ装置

②実願 昭49-85845  
②出願 昭49(1974)7月19日  
③考案者 吉田誠  
東京都目黒区中町1の6の14オーベック株式会社内  
同 佐藤清  
同所  
④出願人 オーベック株式会社  
東京都目黒区中町1の6の14  
⑤代理人 弁理士 福田勲

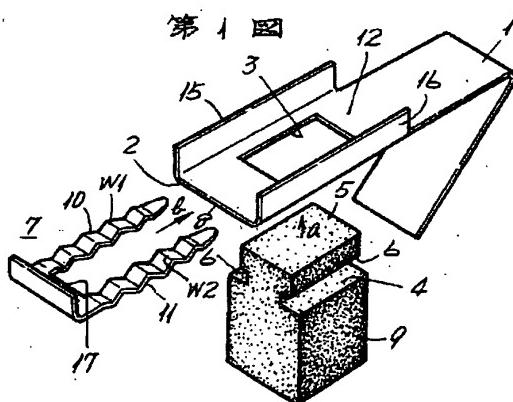
⑦実用新案登録請求の範囲

板ばねホルダ1の一端水平部2に貫通孔3を設け、その貫通孔3からブラシ頂面4に形成した横断面T字形の突起5を突出させ、その突起5の水平部下面6を弾性部材7の弾性力で押上げてブラシ頂面4をホルダ面8に圧着させた小型モータのブラシ装置。

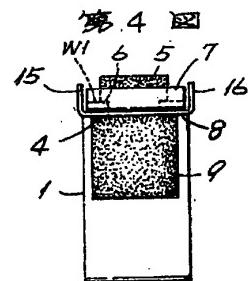
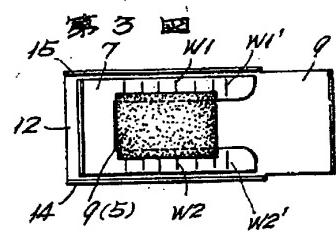
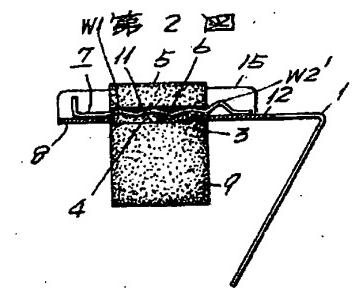
図面の簡単な説明

第1図は本案の一実施例の分解斜視図、第2図は組付後の一端断正面図、第3図はその平面図、第4図はその側面図、第5図は弾性部材の変形側の斜視図。

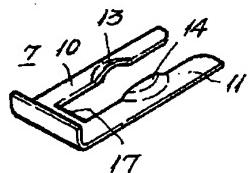
9はブラシ、10, 11は弾性部材の脚部、12はホルダ水平部上面、13, 14は打出し突起。



BEST AVAILABLE COPY



第5図





手数料

(1,500円)

BEST AVAILABLE COPY

## 実用新案登録願

昭和49年7月19日

特許庁長官 斎藤英雄 殿

コガタ ソウタ

1. 考案の名称 小型モータのブラシ装置

2. 考案者 メロクナカワ

住所 東京都品川区中町一丁目6番14号

氏名 ヨシムラトオオバツク株式会社内

實田

3. 実用新案登録出願人 (他一名)

メロクナカワ

住所 東京都品川区中町一丁目6番14号

氏名 オーバツク株式会社

(国籍) スサナタケシ

代表者 齋藤武

4. 代理人 T151

住所 東京都渋谷区代々木二丁目19番2号(唐沢ガニビル)

氏名 (3825) 弁理士 福田勧

電話 370-6426(代)

5. 添付書類の目録

(1) 明細書 1通

(2) 図面 1通

(3) 領書副本 1通

(4) 委任状 1通

(5) 審査請求書 1通

49 085845



BEST AVAILABLE COPY

明細書

1・考案の名称 小型モータのブラシ装置

2・実用新案登録請求の範囲

板ばねホルダ1の一端水平部2に貫通孔3を設け、その貫通孔3からブラシ頂面4に形成した横断面で字形の突起5を突出させ、その突起5の水平部下面6を弾性部材7の弾性力で押上げてブラシ頂面4をホルダ面8に圧着させた小型モータのブラシ装置。

3・考案の詳細な説明

本案は、小型モータのブラシ装置に関するもので、ブラシの材質に關係なく適用されるホルダに対する取付手段を提供することを目的とする。又もブラシとホルダの組付けが強固で、ブラシからホルダへの電気導通性が安定した固定手段を得ることを目的とする。又部品加工を簡単にし、組付作業を極めて容易に行うことにより量産性を向上し、コストの低減を図ることを目的とする。

本案は上記の目的を達成する手段として図面

BEST AVAILABLE COPY

に示すように板ばねホルダノの一端水平部2に貫通孔3を設け、その貫通孔3からブラシ頂面4に形成した横断面工字形の突起5を突出させ、その突起5の水平部下面6を弾性部材7の弾性力で押上げてブラシ頂面4をホルダ面8に圧着させたものである。

第1～4図例は、弾性部材7を板ばねを用いて平面コ字形に形成し、その両脚部10・11を波形に折曲げたもので、第1図矢示 $\alpha$ 方向からブラシタの突起5をホルダノの貫通孔3に挿入してホルダ水平部上面12から突出させ、その突起5の水平部下面6とホルダ水平部上面12との間に矢示 $\beta$ 方向から弾性部材7の両脚部10・11を差込むと、その波形折曲げ部W1・W2は上下方向から押潰され、その差込みを許容する。そして両脚部10・11の接続部17がブラシタに当たるまで差込めば、両脚部10・11の先端折曲げ部W1'・W2'が第2図のようにホルダ水平部上面と突起水平部下面との間から抜け弾性復元し、抜け止めを行う。同時にブラシ

BEST AVAILABLE COPY

9は折曲げ部W1・W2の弾性で押上げられ、その頂面4がホルダ水平部下面5に圧着する。

第5図は弾性部材7の両脚部10・11に波形折曲げ部に代え打出し突起13・14を設けたものである。15・16はねばねホルダの補強用折曲げ片を示す。

上記の構成において、ホルダ1は、材料から切断、打抜き、曲げ加工の一連の工程で製造することができる。又ブラシタはモールドにより一工程で製造できる。そして組付作業も、ブラシタの突起部9をホルダの貫通孔3から突出させ、弾性部材7を突起部9の水平部下面6とホルダ水平部上面12の間に差込むだけでよいから非常に簡単である。又ブラシタはホルダ貫通孔3及び弾性部材7によつて、上下、左右前後方向を規制され、組付ガタを生じることがない。そのためブラシタとねばねホルダ1の組付けが強固であり、接触電気抵抗を無視することができ、前記の目的が達成される。

従つて本案は量産性に必要な条件を全て備え、低コストで大量需要に対応することができる

BEST AVAILABLE COPY

ものである。

4・図面の簡単な説明

第1図は本案の一実施例の分解斜視図、第2図は組付後の一部縦断正面図、第3図はその平面図、第4図はその側面図、第5図は弾性部材の変形側の斜視図。

タはブラシ、10・11は弾性部材の脚部、12はホルダ水平部上面、13・14は打出し突起。

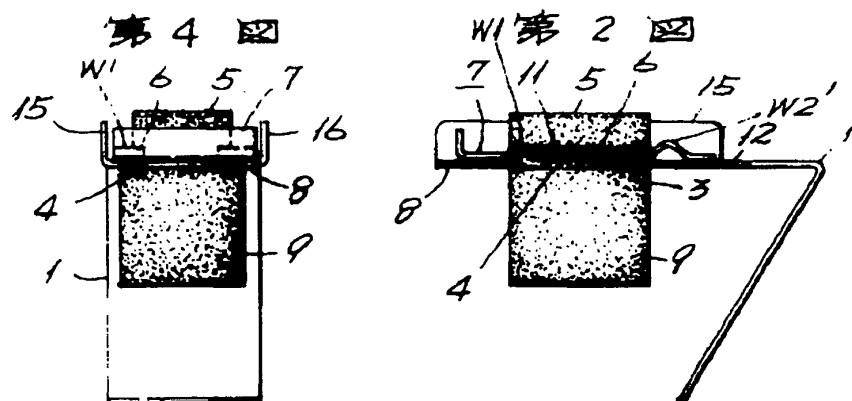
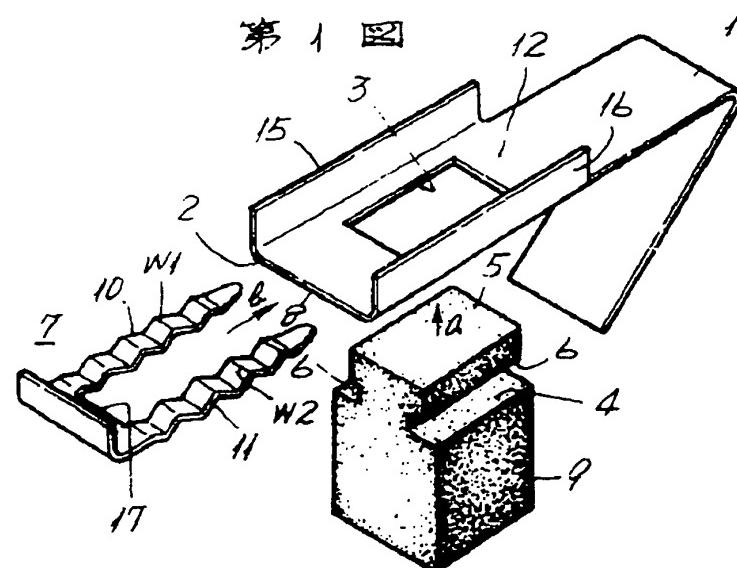
実用新案登録出願人 オーパヴァタ株式会社

代理人 福田

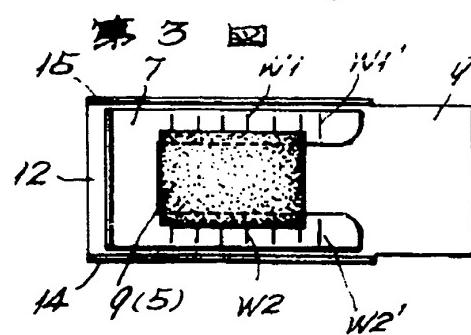
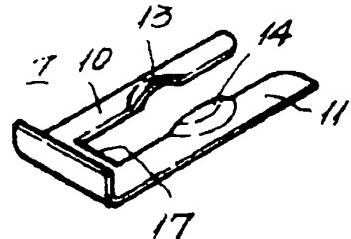
㊞



BEST AVAILABLE COPY



第5図



代理人 福田 劍



3

6. 前記以外の考収者

メクロタ ナカマ

住所 東京都 目黒区 中町 一丁目6番14号

オーベッタ株式会社内

サトウ カヨシ

氏名 佐藤 潤

BEST AVAILABLE COPY